

有害物質の排出濃度明細書

指定工場における有害物質の総排出量	有害物質の種類		排出量		有害物質の種類		排出量	
	カドミウム及びその化合物		g/h		ホルムアルデヒド		g/h	
	塩素		g/h		硫化水素		g/h	
	塩化水素		g/h		二硫化炭素		g/h	
	弗素		g/h		ホスゲン		g/h	
	弗化水素		g/h		臭素		g/h	
	弗化珪素		g/h		六価クロム		g/h	
	鉛及びその化合物		g/h		タール状物質		g/h	
シアン化水素その他のシアン化合物		g/h		水銀及びその化合物		g/h		
有害物質を排出する施設別の明細	有害物質を排出する施設の名称	工場における施設番号	排出ガス量	有害物質の種類	有害物質の排出濃度	有害物質の排出量	有害物質の処理施設	捕集効率
			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
計			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
			m ³ /h		mg/m ³	g/h		%
※審査結果								
※備考								

- 注 1 有害物質を排出する施設については、施設別に簡単な工程説明図を添付すること。
 2 ※印欄は記入しないこと。
 3 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、有害物質の排出濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量にそれぞれ換算したものとする。
- 備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

別紙3 (その2)

(ばい煙用)

硫黄酸化物の排出明細書

指定工場における硫黄酸化物の総排出量等			qr (m ³ /h)		q (m ³ /h)		W (kL/h)		Wi (kL/h)		a		指定工場名						
指定工場における施設番号	施設の種類	施設の設置年月日	使用する燃料・原料 (定格能力)							重油に換算した量		硫黄分 (%)	燃料使用量又は原料処理量		硫黄酸化物排出量				備考
			燃原料の種類	混焼割合	発熱量 (kcal/kg)	比重又は換算率 (kg/m ³)	燃料の使用量	原料からのSOx量 (処理後) (m ³ /h)	換算係数	W (kL/h)	Wi (kL/h)		処理前		処理後				
													最大値 (m ³ /h)	計画値 (m ³ /h)	最大値 (m ³ /h)	計画値 (m ³ /h)			
合計																		qr=	

注1 予備施設・休止施設の区分を備考欄に明記すること。
 2 原料からのSOx量及び硫黄酸化物排出量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、比重又は換算率については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量にそれぞれ換算したものとする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

ばいじんの排出濃度明細書

指定工場におけるばいじんの総排出量		セメント、石灰石及びマグネシアに係る焼却炉、乾燥炉から排出されるばいじん量 (Q ₁)		左記以外のばい煙発生施設からの排出されるばいじん量 (Q ₂)				計 (Q ₁ +Q ₂)		
		kg/h		kg/h				kg/h		
規制基準										
ばい煙発生施設別の明細	(Q ₁) に係るセメント、マグネシア焼却、乾燥炉	ばい煙発生施設の種別	工場における施設番号	ばいじん濃度 (C)	燃料使用量 (W)	排出ガス量	排出ガス量 燃料使用量 (F)	(C) (W)+(F) Q	ばいじん処理施設	捕集効率
				g/m ³	L/h	m ³ /h	m ³ /L	kg/h		%
				g/m ³	L/h	m ³ /h	m ³ /L	kg/h		%
				g/m ³	L/h	m ³ /h	m ³ /L	kg/h		%
				g/m ³	L/h	m ³ /h	m ³ /L	kg/h		%
				g/m ³	L/h	m ³ /h	m ³ /L	kg/h		%
				g/m ³	L/h	m ³ /h	m ³ /L	kg/h		%
				g/m ³	L/h	m ³ /h	m ³ /L	kg/h		%
(Q ₂) に係るばい煙発生施設	ばい煙発生施設の種別	工場における施設番号	排出ガス量	ばいじん濃度	排出ばいじん量	燃料使用量	ばいじん処理施設	捕集効率		
			m ³ /h	g/m ³	kg/h	L/h		%		
			m ³ /h	g/m ³	kg/h	L/h		%		
			m ³ /h	g/m ³	kg/h	L/h		%		
			m ³ /h	g/m ³	kg/h	L/h		%		
			m ³ /h	g/m ³	kg/h	L/h		%		
※ 審査結果										
※ 備考										

注 1 排出ガス量の算出にあたっては、乾きガス状態で算出すること。

2 ※印欄は記入しない事。

3 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、ばいじん濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

別紙3 (その4)
(悪臭用)

悪臭物質の濃度明細書

敷地境界線上における濃度	物質の種類	許容限度 (ppm)	工場事業場の濃度 (p p m)								
	測定場所										
	アンモニア										
	メチルメルカプタン										
	硫化水素										
	硫化メチル										
	トリメチルアミン										
排出口における流量	特定施設の種類の										
	工場等における施設の番号										
	流量 (m ³ /h)										
	物質の種類										
	物質の種類	許容限度	流 量	許容限度	流 量	許容限度	流 量	許容限度	流 量	許容限度	流 量
	アンモニア										
	硫化水素										
	トリメチルアミン										
※ 審査結果											
※ 備考											

注 流量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態における量に換算したものとする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。